

大洗冬の味覚「あんこう」を満喫 大洗あんこう祭り

大洗あんこう祭が11月23日(日)、大洗マリタワー前広場を会場にして盛大に開催されました。大洗冬の味覚「あんこう」を主役に、あんこうの吊るし切りや一杯100円で振る舞われたあんこう汁2,000食サービスをはじめ、あんこう飯・あんこう汁の早食い競争など、大勢の皆さんが大洗のあんこうを堪能してホクホクの笑顔を見せていました。

また、大洗の特産品販売をはじめ北関交流フェア、フラダンスや子供たちも楽しめるアトラクションなど様々な催しが行われ、約4万5千人の来場客で賑わいました。



いじめをなくそう人権教室 「思いやりや いたわりの心を大切に」

このほど、夏海小学校3・4年生並びに磯浜小学校3年生を対象に「いじめをなくそう人権教室」が開催されました。

この教室は「いじめのない楽しい学校生活を送るためにはどうすればよいか」について考え、「友達を差別して悲しませてはいけない」という人権思想の基本的な考え方を理解してもらおうという取り組みです。

人権擁護委員の吉川典正さん、清宮澄さん、小野瀬ひろみさんが出席し、アニメビデオを教材に「いじめる子・いじめられる子・それを見ている子」それぞれの気持ちになってみんなで話し合い、子どもたちは「いじめをなくすためにはどうすれば良いか」について積極的に意見を述べました。



第34回大洗町芸術文化祭 芸術文化の薫り高い町に

11月8日(土)音楽発表会をかわきりに11月22日・23日・24日に第34回大洗町芸術文化祭が開催されました。

中央公民館などの展示会には、町内小・中学校児童生徒や一般、芸文協会員の書道、^{てんこく}篆刻、絵画、工芸美術、写真、陶芸、俳句、短歌、いけばな等707点の力作が展示され、町民会館大ホールでは、日本舞踊や民謡、吟詠剣詩舞、祭ばやし、音楽会などが行われました。また、公民館では俳句会、短歌会、茶会が開催され芸術文化に関心のある皆さんで賑わいました。

また、山村暮鳥が結ぶ文化友好の町である高崎市群馬支部(旧群馬町)からは、和太鼓・朗読・民謡民舞の皆さん約50名が来町し、展示コーナーや合同発表会を通じて友好を深めました。



第63回三浜駅伝競走大会 一中女子 初の6位入賞! ゆっくらSQ 初優勝!



12月7日(日)第63回三浜駅伝競走大会が、ひたちなか市～大洗町のシーサイドコースを舞台に開催されました。今回は昨年より23チーム多い、総勢145チームが一本のタスキをつなぎました。当日は、快晴、無風というすばらしい天候の中、沿道からの声援に応え、選手たちは力強い走りを見せました。

大会結果(大洗町関係)

中学女子の部	第 6 位	大洗一中	第11位	大洗南中
中学男子の部	第12位	大洗一中	第14位	大洗南中
	第36位	大洗一中サッカー部		
	第37位	大洗一中野球部		
一般女子の部	第 1 位	ゆっくらSQ		
一般男子の部	第14位	原子力機構大洗A	第24位	原子力機構大洗B
	第26位	大洗水族館	第33位	土びんランナース

涸沼をきれいにしよう! ひぬま環境フォーラムが開催されました

11月18日(火)いこいの村涸沼にて、第8回ひぬま環境フォーラムが開催されました。きれいな涸沼の環境を保つために募集された、多くのポスターや標語、フォトコンテストの中から大洗町の小学生の作品が表彰されました。

標語の入賞作品

【小学生低学年の部】

(優良賞)大貫小学校2年 大川明香里
磯浜小学校3年 高信 佑夏

【小学生高学年の部】

(優良賞)磯浜小学校6年 丸山 理彩



エコキャンドルライトIN大洗 1,000本の光が海辺を彩る

11月29日、大洗港第4埠頭で、約1,000本のキャンドルでクリスマスツリーを描く「エコキャンドルライトIN大洗」が開催され、大勢の家族連れなど約900人で賑わいを見せました。

過剰な電力消費をやめようと、町内の飲食店や旅館などから集めた廃油でエコキャンドルを作成し、大洗の海辺に灯すことで、みなとの賑わいまちづくりに役立てたいとの思いで実施されました。訪れた皆さんは、キャンドルの光の美しさを体感し、一足早いエコなクリスマスのひと時を過ごしました。



わが家の
ライフスタイル

いのうえ れお
井上 礼央くん

(五反田3区 H19.12.4生まれ)
お父さん 秀次 お母さん 桂子
「歯みがき大好き！」



むらい りょう
村井 涼くん

(髭釜町8区 H19.7.21生まれ)
お父さん 浩 お母さん 満喜子
「家族みんなの笑顔の源です。」

「私が惚れこむ大洗」

大洗が好きで、大洗に定住した方に大洗のどこが好きになったのか伺いするコーナーです。

「生活の中心はサーフィン！」

栃木県宇都宮市から大洗に移り住んで3年。大貫町にお住まいの芝野さんご家族を紹介します。

Q：大洗に移住されたきっかけは何ですか？

A：海が大好きで、夫婦共通の趣味のサーフィンをやるために、宇都宮での生活と仕事をなげうって大洗に引っ越して来ました。

Q：大洗のどこに魅力を感じましたか？

A：目の前に広がる海、いつでもすぐにサーフィンができる環境、時間が合えば夫婦で海に入ることもできてとても幸せです。また、ハマグリやシラスなどおいしい食材が豊富なのも魅力です。

Q：大洗で一番好きな場所はどこですか？

A：サンビーチの水平線から昇る日の出。(特に夏!) 毎朝サーフィンをしながら眺めています。

Q：町に関連した取り組み活動等がありますか？

A：子供が通う保育園の行事に合わせて、子供と一緒に町の催しに参加しています。

Q：町に対する要望等がありますか？

A：夜になると町全体が暗くて、これから子どもが通学するようになってからが心配です。特に細い路地は真っ暗なところが多いので、もっと街路灯を増やして町全体を明るくしてほしいです。

また、いつまでも大洗でサーフィンが出来る環境を守ってほしいです。



大洗町の歴史を見つめて守

江戸時代の歴史

4 近世農村としての磯浜村・大貫村

寛永十八年(一六四一)の検地によると、宮田村(磯浜村)一八六石、大貫村一二三五石の村高(年貢・諸役賦課の基準)であった。磯浜村は村高が少ないものの、鰯漁業が順調な時は漁獲高が年間三万両にも及んだというので十分に生活が成り立っていたと思われる。なお、磯浜村には、庄屋・組頭のほか漁業関係の行政を担当する舟庄屋・舟組頭・二十分一役が別に置かれた。磯浜村の水田は二反田・三反田・六反田・七反田・八反田に、大貫村の水田は八枚を中心にして現在の水田地帯とほぼ一致していた。

磯浜・大貫両村とも、一七世紀中頃までに、本百姓一軒あたり二石五斗高を基本とした「地割」が行われた。この慣行は、痩せ地を多く持つ農民が困窮してしまふ不公平をなくす手段として、いろいろな地味の土地を組み合わせて村内の土地を一定面積に分割して割り当てたものである。幕末期の大貫村では、村高を四九六に分け、一軒あたりの二石五斗ずつに茅野を付属させて分け、一六軒を一組とし、全体で三一組とした。一八世紀中頃から水戸藩では本百姓の没落が顕著となるが、磯浜村でも田畑を手放す本百姓が増え、盛んに田畑の売買が行われた。一八世紀後半、土地を集積したのは、酒造業やサバの干物を商う着加工業の人たちであった。

(町文化財保護審議会委員 郡司丈児)



江戸時代の大貫八枚辺りの絵図(大場 宣氏所蔵・茨城県立歴史館寄託)

十月の中ほど過ぎて四照花の赤き果実のほつほつとして

〔評〕作者の作品は、気持の上でゆとりがある。その人格のあらわれであるうか。 桜道五 猿田彦太郎

ひしひしと別れ敢へなき堂内に友の面影還る鉦の音

〔評〕高齡化を伴いつつ友への格別の別れは一人であるう。鉦の音は尋常ならぬ響である。 夏海 木野内清太郎

川土手の野花閉じゆく夕つ方群落なして月見草咲く

〔評〕群落の中の月見なかなかに捉えどころがいい。群落は非常によく効いている。 祝町三区 桐原 すみ

一秒を流れゆく時刻ぬばたまの暗きしじまの一夜さの夢

〔評〕作者は漢語古語をよく使われる。大変よいことである。更に工夫されて御精進を。 永町四区 川上 ひさ

日もすがら匂いを放つ金木犀さ庭の秋をひとり占めし

〔評〕力量ある作者とみてよい。いよいよの精進に期待されるものがある。 寺釜九区 三村 住江

裏庭の傾りの黄なるあまた蜜柑色づき染めてつづら実あらわ

〔評〕熱心な作者である。よく詠まれているが、特に作品の上の文脈に気付かれたい。 南清水一区 広木 チイ

久々に先祖供養す阿弥陀堂比叡の樹木は霖雨にけがる

〔評〕整っている作品である。先祖の供養は大切なことである。結句の結びはよい。 金沢町一区 古渡 節子

兵の日の辛苦思へば何やあると老いのわが身に日々鞭を打つ

〔評〕兵といえは一兵に。一等、二等兵長、上等兵、とにかく忍耐と苦難の道であったろう。 祝町十区 佐藤 毅

みはるかす那須野ヶ原の黄金色稲木に掛ける人らの忙し

〔評〕那須への旅の歌。秋の景はいたるところにその景が展開される。農の人らの農繁期のときである。 永町六区 鬼澤のぶ子

祝いくるる淡いピンクの胡蝶蘭はねを広げて飛び立つばかり

〔評〕店の改築店開きの華やきの日である。送られた胡蝶蘭は祝福に充分である。 新町十区 打田 照子

文のびてかたむきかけし菊の枝支柱を立てて花盛りなり

〔評〕ふと街で見かけた小菊であるうか支柱に支えられた菊の花々に目をやる作者である。 永町六区 笹目 孝子

〔評〕ふと街で見かけた小菊であるうか支柱に支えられた菊の花々に目をやる作者である。

人の生くる基本問わるる心地せり国文祭の生徒らの歌に

〔評〕大ホールに展開された生徒達の演出に何者ならはの思いが表白されている。 新町六区 関根 秀子

友と来しドッコの沼の冬景色黄や朱に染み落葉散りつ

〔評〕冬景色のドッコの沼、もみじの彩りはいまや盛んである。 寺釜八区 小野瀬保子

好き嫌い無きがごとくに樹々を抱き燃えて際立つ北の蕪漆

〔評〕北国の蕪漆、その繁殖は執拗なまでに樹々を被い尽くして止まない。何かまわずに。 永町十六区 身内 ゆみ

なざわたる溜沼の川をしらじらと移ろひゆけり晩秋の雨

〔評〕秋より冬にかけた寒々しい雨。身の弱い作者はその情景をじつと見据えているのだ。 成田五〇 清宮 しげ

戦火終えて伴侶とはげみ幾年の想ひを馳せる敬老の日

〔評〕回想の歌。伴侶のおもいめぐらす長い人生は測り難いものがあるう。お幸せに。 永町二区 田山 りゑ

銀色のすすきと黄なる泡立草丘のなだりを潮風ゆらす

〔評〕私日本人にとって穂世の風情は格別である。泡立草の侵蝕にもさままなおもいがあるう。 新町三区 高崎夫左江

草刈ればこおるぎの声畑隅にピンクの小菊咲き盛りおり

〔評〕こおるぎの声も途絶えがちになる垣庭の小菊も咲き始めよう。秋も過ぎようとするひと日。 永町七区 秋山まさ子

山峡の落葉降り敷くひとところくれない染みてそばつ

の咲く

山なべて錦を飾りテレビにて若かりし日のなつかしき道

〔評〕山々はすべて紅葉の色彩。かつての山登りを思い越す時、そのすべては懐かしい。 寺釜九区 佐藤よし子

砂原に佇ちて遠くを眺むれば過ぎ去りし日の思ひにかへる

〔評〕人は誰でも大自然の前に佇てば心が静まる。作者もまた過去回想の想いに浸るといふのだ。 蔵前三区 鴨川 靖

ぼくとわたしのちびっこギャラリー

かもめ保育園 「おいしいもちができました。」



園児と消防署員の餅つき大会と防火訓練

アクアワールド大洗の仲間たち

- ハダカカメガイ -

今回はクリオネと言った方がわかるかと思えますハダカカメガイをご紹介します。

クリオネと呼ばれている理由は、学名(世界共通の名前)が *Clione limacina limacine*(クリオネ リマキナ リマキナ)と呼ばれていることからです。

このハダカカメガイは名前のように貝殻を持たない巻貝の仲間で4cm程まで成長し、北太平洋の亜寒帯海域に生息しています。日本では北海道で見られます。しかし、平成10年4月19日には大洗港内でクリオネが生きている状態で発見され16個体を採集することができましたが、発見された原因はよくわかりませんでした。続いて平成17年3月には県水産試験場の調査船が、大洗南東沖合約20~40kmでクリオネを採集し当館で展示することができました。その時の理由としては、親潮の影響が強い年だったために流されてきたのではないかと考えられています。

昨年12月からマンボウ水槽前にてクリオネの展示を始めました。天使のように翼足(よくそく)を動かしながら泳ぐ可愛い姿をぜひご覧ください。



アクアワールド・大洗

<http://www.aquaworld-oarai.com> TEL 029-267-5151

健康づくりコーナー
お元気ですか? 保健師です



子守唄うたってみませんか?

子守唄をうたっていますか? 子どもの頃よく聞いていた懐かしい歌声。最近あまり聞かれなくなってきたような気がします。親と子の絆のはじまりに、ぜひ子守唄をうたってみませんか?

子守唄って?

子どもが生まれてはじめて聞く唄
縄文時代から受け継がれている
歌うことにより、あやし・遊ばせ・眠らせる
抱っこして“愛”を伝えるもの
子どもを大切に思う気持ちがそのまま伝わる
歌うと自分も安らぐ

子どもが大きくなり、困難にぶつかった時、子守唄をうたってもらった子どもの頃をふっと思い出し、立ち向かっていける...そんな愛情を子守唄をとおして伝えられたら素敵ですね。唄を聞くと、肌のぬくもり、やさしい声まで思い出し、その愛情が歌い継がれることとなります。

親子の絆が見直される今、子守唄をうたってみませんか?

江戸の子守唄

ねんねんころりよ おころりよ
坊やはよい子だ ねんねしな
ねんねんの子守は どこへ行った
あの山こえて 里へ行った
里おみやの土産に 何もろった
でんでん太鼓に 笙つづみの笛
おきゃがりこぼしに 振り鼓
おきゃがりこぼしに 振り鼓
東京都

